

2021年度（2020年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号

2-2-1

事務事業名	ふるさと歴史館維持管理事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約	社会教育施設の長寿命化		公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

郷土資料を収集・保管・展示をすると共に、体験学習等の普及活動をとおして町の文化・歴史を後世に伝える事を目的に運営されている。

開館20年を過ぎた事から、展示機器や施設設備に経年劣化が見られたり、展示の掲載内容が古くなっているものが見られるため、計画的に更新していく必要がある。

〔2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法〕

地域の資料館に求められる機能を充実させられるよう取り組んでいく。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	193,504	202,707	204,163	0	218,000	218,000
	一般財源	円	18,505,568	5,448,354	5,654,782	4,253,005	4,462,000	4,462,000
	事業費計(A)	円	18,699,072	5,651,061	5,858,945	4,253,005	4,680,000	4,680,000
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.1221	0.1169	0.1226	0.2118		
	人件費計(B)	円	949,885	911,581	983,062	1,681,146		
	トータルコスト(A+B)	円	19,648,957	6,562,642	6,842,007	5,934,151		

2021年度(2020年度実績)事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 2-2-1

事務事業名	ふるさと歴史館運営事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

[事業の概要・現状・課題]

体験型資料館としての特色を活かし、来館者に対するものづくり体験の場を提供することで、郷土の歴史や文化に対する理解を深めてもらう事を目的としている。

事業のマンネリ化が課題となっている。ものづくり体験については、どこでも出来るような工作ではなく、ふるさと歴史館らしさのあるメニューを用意できるよう工夫していく必要がある。

なお、2020年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、例年実施している体験型イベント「ねんりんフェスティバル」を中止し、規模を縮小した特別工作教室を実施している。

[2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法]

町の歴史・文化に興味を持ってもらえるような事業プログラムを検討・実施し、入館者の増加につなげていく。

町の歴史・文化を後世まで伝承するという役割を果たすため、収蔵資料の保存・活用を図る。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	366,578	369,152	380,449	389,468	380,000	380,000
	一般財源	円	3,062,216	3,141,638	3,200,019	3,277,273	3,134,000	3,134,000
	事業費計(A)	円	3,428,794	3,510,790	3,580,468	3,666,741	3,514,000	3,514,000
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0661	0.0706	0.0786	0.1544		
	人件費計(B)	円	514,229	550,535	630,250	1,225,538		
	トータルコスト(A+B)	円	3,943,023	4,061,325	4,210,718	4,892,279		

2021年度(2020年度実績)事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画 施策番号	2-1-2
--------------	-------

事務事業名	家庭教育学級活動支援事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約	年代や分野を問わない潤いのある生涯学習推進		公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

[事業の概要・現状・課題]

各家庭教育学級への支援(補助金の支出と学習内容に関する助言)と、家庭教育をテーマとした講演会等を開催している。働く母親が増え、学級生の人数減少や役員のなり手不足など、家庭教育学級単体での活動が難しくなっている学級もある。

[2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法]

親同士のつながりだけではなく、学校や地域と連携した活動が重要となっていくため、学校や地域と連携して地域全体で子育てができる環境を整備する。

他に各家庭教育学級へのニーズ調査を行い、現状の支援内容が適切であるかどうか見直しを行う。

2021年度から開設条件として新たに各家庭教育学級の活動内容に地域学校協働活動の実施を追加した。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	333,504	335,566	328,536	35,000	357,000	357,000
	事業費計(A)	円	333,504	335,566	328,536	35,000	357,000	357,000
人件費 投入量	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0613	0.0788	0.1094	0.0254		
	人件費計(B)	円	476,887	614,479	877,218	201,610		
	トータルコスト(A+B)	円	810,391	950,045	1,205,754	236,610		

2021年度(2020年度実績)事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画 施策番号	2-1-2
--------------	-------

事務事業名	芽室町PTA連合会活動支援事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約	年代や分野を問わない潤いのある生涯学習推進		公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

[事業の概要・現状・課題]

PTA連合会への活動費の助成。

会の活動内容は、道内・管内各種研修会への参加、視察研修の実施、研究大会・役員交流会などの開催。なお、2020年度はコロナウィルス感染症により、補助金支出の事業の実施がなかったため年度途中に町補助金を返戻。

[2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法]

教育効果を高めるため、活動内容の見直しを行ったので、今後の活動状況を見守っていく。

事業の開催については、今年度も新型コロナウィルス感染症の感染状況によっては2020年度と同様に事業が中止となることも見込まれる。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	477,625	414,801	437,315	38,874	490,000	490,000
	事業費計(A)	円	477,625	414,801	437,315	38,874	490,000	490,000
人件費 投入量	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0116	0.0177	0.0042	0.0076		
	人件費計(B)	円	90,243	138,024	33,677	60,324		
	トータルコスト(A+B)	円	567,868	552,825	470,992	99,198		

2021年度(2020年度実績)事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画 施策番号	2-1-2
--------------	-------

事務事業名	学習活動支援事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

[事業の概要・現状・課題]

知識や経験のあるものを生涯学習推進アドバイザーに委嘱し、社会教育の各分野において直接指導・助言等を行う。

主に、高齢者学級「めむろ柏樹学園」の運営や、青少年健全育成のための活動、コミュニティスクールの推進などを担う。生涯学習推進アドバイザーとして知識や経験のある方を雇用するのが難しくなってきている。

また、コミュニティスクールの推進のために地域学校協働活動を行う事から、CSコーディネーターを配置。

芽室町総合情報誌「すまいる」に町の教育情報を掲載し、教育・スポーツ・公民館・図書館に係る情報を発信する。

活字離れが進む一方で、紙媒体を好む世代もいるので、幅広い世代に情報発信していくためには工夫が必要である。

[2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法]

アドバイザーについては、良い人材を集めための工夫が必要。

力を入れて発信すべきところと、削減できるところを見極め、限られた予算の中でメリハリをつけた誌面構成にする。

QRコードの活用をし、伝えたい内容を絞りHPと連携した紙面構成をして読みやすい文章を作成する。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円			467,000	724,000	975,000	
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円			935,501	768,867	1,202,000	1,202,000
	一般財源	円			9,484,388	7,435,335	10,813,000	11,788,000
	事業費計(A)	円			10,886,889	8,928,202	12,990,000	12,990,000
人件費 人件費	正職員従事人数	人			4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工			0.1527	0.2985		
	人件費計(B)	円			1,224,417	2,369,320		
	トータルコスト(A+B)	円			12,111,306	11,297,522		

2021年度(2020年度実績)事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 2-2-1

事務事業名	郷土芸能メムオロ太鼓保存会活動支援事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業	<input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業	<input type="checkbox"/> 法定受託事務

[事業の概要・現状・課題]

町の郷土芸能であるメムオロ太鼓を保存・継承するため、開町80周年を機に結成された郷土芸能メムオロ太鼓保存会に対して、継続して支援を行う必要がある。

会員数が減少しており、それに伴い、予算規模・会の活動の縮小化をせざるを得なくなってきた。会員(打ち手)の減少や指導者の確保などの課題が継続している。

[2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法]

会の運営がスムーズに進むよう、助言を行っていく。

勤労青少年ホームの改修工事に伴い、活動場所を中央公民館に移す。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	0	0	0	0	0	0
	事業費計(A)	円	0	0	0	0	0	0
人件費 投入量	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0011	0.0008	0.0016	0.0005		
	人件費計(B)	円	8,558	6,238	12,830	3,969		
	トータルコスト(A+B)	円	8,558	6,238	12,830	3,969		

2021年度(2020年度実績)事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画 施策番号	2-1-2
--------------	-------

事務事業名	勤労青少年ホーム維持管理事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係	
町長公約	温水プール改築と総合体育館周辺施設の再整備の検討		公約達成年次	2022年
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託業務		<input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業	

[事業の概要・現状・課題]

勤労青少年の健全な育成及び福祉の増進を目的として、勤労青少年の活動拠点及び社会教育施設としての有効活用を図るための維持管理を行う。平成18年度からメムオロ太鼓保存会の練習場所として一部を専用で使用している。

近年は勤労青少年や青年団体の活動の場としての利用が減少しており、現在は適応指導教室ゆうゆう、郷土芸能メムオロ太鼓保存会の活動や隣接する体育施設の補完施設としての利用が見られる。

なお、旧勤労青少年福祉法(現青少年の雇用の促進等に関する法律)が改正され、勤労青少年ホームに関する規定は廃止されている。

[2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法]

総合体育館一帯の施設配置についての構想を策定したことから、それに基づいた維持管理をすすめる。令和4年度から勤労青少年ホームの改修工事が始まり、令和5年度からスポーツ振興などの複合施設として供用開始される。

勤労青少年ホームとしての機能は、令和3年度末で廃止する。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	46,200	49,590	9,100	2,900	10,000	10,000
	一般財源	円	1,825,496	2,011,106	2,077,737	2,808,143	3,055,000	3,055,000
	事業費計(A)	円	1,871,696	2,060,696	2,086,837	2,811,043	3,065,000	3,065,000
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0119	0.0043	0.0096	0.0039		
	人件費計(B)	円	92,577	33,531	76,977	30,956		
	トータルコスト(A+B)	円	1,964,273	2,094,227	2,163,814	2,841,999		

2021年度(2020年度実績)事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号

2-2-1

事務事業名	芸術・文化振興支援事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係	
町長公約	「一流」を見て、聴いて、学ぶ		公約達成年次	2020年
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業	<input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業

[事業の概要・現状・課題]

芸術・文化活動の振興を目的とし、小中高生が芸術・文化活動において上位大会等へ出場する機会を得た場合の経済的な負担の軽減を行う。また、芽室町文化協会、文芸誌発刊、めむろ子どもと人形劇を楽しむ会への補助を行う。

文化・芸術鑑賞助成金については、例年利用者が減少傾向にあり、年間30名程度に至ったことから、2020度から廃止としており、今後は芸術鑑賞の機会の充実に努める。

所属団体・加入会員数が減少傾向にある文化協会への活動支援を中心に、町全体の文化活動が盛んになるよう支援していく必要がある。

なお、2020年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による文化協会事業の縮小に伴い、文化協会補助金に減額が生じている。

[2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法]

文化協会としても意欲的に取り組んでいただく必要はあるが、協会役員の相談に乗りながら、会が活発に活動していくけるよう支援していく。芽室文芸においては、周知を広報誌すまいるだけで行っていたが、すまいるボードでも行う事で広く周知をして投稿者数の増加につなげる。現在文化協会が発行している芽室文芸の2022年度以降の発行方法等について、編集委員会と協議を行う。、

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	386,943	1,382,229	2,196,893	707,807	1,461,000	1,461,000
	事業費計(A)	円	386,943	1,382,229	2,196,893	707,807	1,461,000	1,461,000
人件費 投入量	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0592	0.0676	0.0928	0.0819		
	人件費計(B)	円	460,550	527,142	744,112	650,075		
	トータルコスト(A+B)	円	847,493	1,909,371	2,941,005	1,357,882		

2021年度（2020年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号
2-2-1

事務事業名	芸術鑑賞会等開催事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約	一流を見て、聴いて、学ぶ	公約達成年次	2020年
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

[事業の概要・現状・課題]

町民に対して、音楽や伝統芸能、演劇などの芸術に触れる機会を提供するために、その分野のプロ(専門家)を招いて文化芸術鑑賞会を開催する。

演目の選定については、平成27年度から町民の委員による内容検討会議を、また、令和元年度から実行委員会に変更し、幅広い年代の町民から意見をもらうことで、町民のニーズに合った鑑賞会を実施しているが、現在のやり方では、年度をまたいで準備がしづらいことや、チケット収入を見越した予算計画が立てられない等の課題がある。

2020年度の芸術鑑賞については、新型コロナウイルス感染症のため事業を中止。

[2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法]

- 平成27年度から実施してきた「内容検討会議」を2019年度から「実行委員会」に変更し、委員には芸術鑑賞会の演目選定だけではなく運営にも携わってもらう。運営に携わってもらう中で、今後の実施主体の検討も行うこととする。
- 「一流を見て・聴いて、学ぶ」機会を提供するため、2020年度から2年に1度予算を増額し、一流の演者の招聘を行う。また、2021年度開催の芸術鑑賞会から、高校生以下の入場料を無料とする。
- 鑑賞会の周知方法やチケットの購入方法等、入場者数増加の工夫を検討する。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	236,500	708,000	764,000	100,000	3,420,000	400,000
	一般財源	円	852,551	795,605	1,405,365	74,267	3,394,000	1,387,000
	事業費計(A)	円	1,089,051	1,503,605	2,169,365	174,267	6,814,000	1,787,000
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.2314	0.2527	0.1705	0.1124		
	人件費計(B)	円	1,800,191	1,970,542	1,367,146	892,166		
トータルコスト(A+B)		円	2,889,242	3,474,147	3,536,511	1,066,433		

2021年度(2020年度実績)事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画 施策番号	2-1-2
--------------	-------

事務事業名	公民館運営事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

[事業の概要・現状・課題]

各種公民館講座及び自主事業などについては指定管理者が行っていることから、各種事業の企画・実施にあたり指導・助言を行う。

2020年度より指定管理事業者が変更となった。連絡を密にとり、町民のニーズにマッチした公民館運営を心がける。

[2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法]

指定管理者の事業提案を踏まえたうえで、公民館講座や企画展示、自主事業などの各種事業への指導・助言を行う。

新型コロナウイルスにより事業の中止は起きているが、現在の指定管理者の経験を生かした企画が出てきている。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投 入 量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	0	0	0	0	0	0
	事業費計(A)	円	0	0	0	0	0	0
人 件 費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0384	0.0368	0.0014	0.0046		
	人件費計(B)	円	298,735	286,965	11,226	36,512		
	トータルコスト(A+B)	円	298,735	286,965	11,226	36,512		

2021年度(2020年度実績)事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画 施策番号	2-1-2
--------------	-------

事務事業名	公民館施設維持管理事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約	社会教育施設の長寿命化		公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

[事業の概要・現状・課題]

住民の様々な生涯学習の活動や発表の場の提供のため、施設の維持管理を行う。改修工事を行っていない部分については徐々に劣化が進んでおり、計画的な修繕を検討する必要がある。

[2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法]

施設管理にあたり、長寿命化計画を作成するなど、中長期的な視野にたち施設修繕等を行う。
館全体の改修に伴い、適応指導教室「ゆうゆう」とめむろ町民活動支援センターが中央公民館内に移動する。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投 入 量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	2,835,798	6,933,447	5,614,190	2,213,026	6,671,000	3,671,000
	一般財源	円	38,590,876	73,944,838	42,795,501	49,208,980	45,329,000	48,329,000
	事業費計(A)	円	41,426,674	80,878,285	48,409,691	51,422,006	52,000,000	52,000,000
人 件 費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.1128	0.1488	0.1695	0.1660		
	人件費計(B)	円	877,535	1,160,335	1,359,127	1,317,612		
	トータルコスト(A+B)	円	42,304,209	82,038,620	49,768,818	52,739,618		

2021年度（2020年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号

2-1-2

事務事業名	高齢者学級「柏樹学園」開設事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約	高齢者の学習機会の充実	公約達成年次	
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

65歳以上の町民を対象に、年間を通じた学習プログラムを作成し、提供し、生きがいのある豊かな人生を送ってもらう。

月に1～2回程度の通常の学習日には、午前は学習(講演)、午後は実技(クラブ活動)を行う。その他、修学旅行や学園祭などの行事も行う。

令和元年度に学園生の冬期間の登園手段確保対策としてバスの試験運行を行い、令和3年度もバス運行を行う。

課題として、徐々に参加人数が減少してきていることから、参加者の確保に努めたい。

〔2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法〕

冬季間の登園手段としてのバスによる足の確保。また、学習活動の充実を図りながら学園生による勧誘などを行っていく。

2022年度以降の冬期間の足の確保については、方法・手段の検討が必要。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投 入 量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	540,000	404,000	378,000	332,000	320,000	320,000
	一般財源	円	800,324	1,061,635	1,185,129	1,120,696	1,952,000	1,952,000
	事業費計(A)	円	1,340,324	1,465,635	1,563,129	1,452,696	2,272,000	2,272,000
人 件 費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0834	0.0475	0.0369	0.0827		
	人件費計(B)	円	648,816	370,403	295,881	656,425		
	トータルコスト(A+B)	円	2,137,730	1,836,038	1,859,010	2,109,121		

2021年度(2020年度実績)事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画 施策番号	2-1-2
--------------	-------

事務事業名	社会教育委員会運営事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

[事業の概要・現状・課題]

事業概要と現状

社会教育委員が社会教育に関し教育委員会に助言するため、下記の職務を行う環境を整える。

- ①社会教育に関する諸計画を立案すること
- ②定時または臨時の会議で教育委員会の諮問に応じて意見を述べること
- ③これらのために必要な研究調査を行うこと

町民の中で「社会教育委員」の認知度が低い状況にある。社会教育委員の役割の周知なども含め、社会教育委員活動の「見える化」を進めていく。

[2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法]

実践する社会教育委員として、各社会教育事業等へ参加してもらい、社会教育事業への意見や提案を活発にしてもらえるように環境を整えたい。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	931,986	706,108	705,152	266,150	1,027,000	1,027,000
	事業費計(A)	円	931,986	706,108	705,152	266,150	1,027,000	1,027,000
人件費 投入量	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.3963	0.1417	0.3319	0.1837		
	人件費計(B)	円	3,083,042	1,104,970	2,661,323	1,458,104		
	トータルコスト(A+B)	円	4,015,028	1,811,078	3,366,475	1,724,254		

2021年度(2020年度実績)事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画 施策番号	2-1-2
--------------	-------

事務事業名	社会教育協会連絡協議会活動支援事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

[事業の概要・現状・課題]

単位社会教育協会に対して活動助成金を交付する等の支援を行うほか、連絡協議会の事業として視察研修や地域づくり研修会を開催し、単位社会教育協会同士の交流や情報交換の機会を提供している。

農村保育所の閉所にともない、単位社会教育協会と農村保育所合同で行われていた地域の運動会が実施されなくなったことに加え、地域での会員戸数の減少や少子高齢化の影響で活動規模の縮小を進めている協会が増えてきており、年間の行事が総会と環境整備のみとなってしまっている協会もある。

なお、2020年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、役員の視察研修会及び地域づくり研修会が中止となっていることから、社会教育協会連絡協議会補助金を一部返還している。

[2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法]

連絡協議会の事業として日帰り・一泊二日の視察研修会を交互に隔年で実施している。視察研修会については、地域の活動をより充実させるために学習・交流の機会を提供するほか、各協会で会長等役員を担当している方への慰労を兼ねてこれまで実施してきたが、近年天候不順が続いている事もあり、視察研修(特に家を不在にすることとなる1泊2日の研修)への参加に負担を感じている協会も少なくない。

年度ごとに、日帰りと1泊の交互に実施している管外研修については、2020年度に新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止となったことから、2021年度も引き続き日帰り日程で計画している。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	855,300	696,235	855,300	630,007	842,000	842,000
	事業費計(A)	円	855,300	696,235	855,300	630,007	842,000	842,000
人件費 投入量	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0565	0.0740	0.0755	0.0603		
	人件費計(B)	円	439,545	577,048	605,393	478,626		
	トータルコスト(A+B)	円	1,294,845	1,273,283	1,460,693	1,108,633		

2021年度（2020年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画 施策番号	2-1-2
--------------	-------

事務事業名	集団研修施設「かっこう」維持管理事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約	社会教育施設の長寿命化	公約達成年次	
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

廃校となった美生小学校校舎を再利用し、青少年の活動拠点として整備された施設であり、本館が昭和55年建築、体育館が昭和41年建築と施設の老朽化が進んでいる。

2022年度以降の社会教育施設としての在り方について地域と協議中。令和3年度は計画的に宿泊期間を4月下旬から11月中旬までに短縮している。

〔2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法〕

令和4年4月からの施設の在り方について政策推進課との調整、地域への説明、及び施設を定期的に使用している団体への説明を行う。

大乃国資料館の設置場所について協議する。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	578,050	541,200	534,850	177,550	523,000	0
	一般財源	円	6,072,755	7,146,690	5,807,999	7,498,593	5,716,000	0
	事業費計(A)	円	6,650,805	7,687,890	6,342,849	7,676,143	6,239,000	0
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.1378	0.1369	0.1725	0.2089		
	人件費計(B)	円	1,072,024	1,067,540	1,383,182	1,658,127		
	トータルコスト(A+B)	円	7,722,829	8,755,430	7,726,031	9,334,270		

2021年度(2020年度実績)事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画 施策番号	2-1-2
--------------	-------

事務事業名	少年教育活動運営事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係		
町長公約	コミュニティスクールの導入		公約達成年次	2019年	
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業	<input checked="" type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業	<input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業

【事業の概要・現状・課題】

集団生活をとおして形成される協調性や自然体験の中での経験が、子どもたちの発達段階ごとの成長に影響を持つと考えられることから、その重要性が求められる。異なる年齢や地域間の交流を通じてのリーダー育成や、親子間の信頼関係を築くなどのため以下の行事を実施している。

事業を手伝うボランティアの不足が見受けられる。

【例年実施している事業】

少年少女国内研修事業(友好都市訪問事業)、西部十勝野外活動体験研修事業「クマゲラの村キッズキャンプ」、ジュニアリーダーコース道東派遣、フレンドリーコンサート、子どもわんぱくキャンプ、メムオロ太鼓保存会子どもの部活動報償、寺子屋めむろ夏・冬、地域学校協働活動、芽室ジモト大学、奈井江町児童生徒との標語作品交流。

【2020年度新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止となった事業】

少年少女国内研修事業(友好都市訪問事業)、西部十勝野外活動体験研修事業「クマゲラの村キッズキャンプ」、子どもわんぱくキャンプ、寺子屋めむろ夏・冬

【2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法】

事業の変更は行わないが、事業の内容は毎年見直し、改善を行う。

ボランティアの不足については、大学、短大などの関係機関に協力を求めていく。

新型コロナウイルス感染症感染拡大により、少年少女国内研修事業(友好都市訪問事業)の中止を決定した。これから予定している事業についても、感染防止対策を行いながら事業実施の可否及び方法を決定していく。

地域学校協働活動については、統括的役割のCSコーディネーターを配置し、関係機関との調整を行いつつ、地域側からの働きかけを拡大するなど、より活発に機能するよう推進していく。

芽室ジモト大学については、事務局として企画立案等に携わる高校生(チームスタッフ)と一緒に芽室ジモト大学の活動について実施するプログラムの内容を考えていく。並行して、次世代の人材育成、郷土愛の醸成及び地域コミュニティの活性化を目的として、関係課および地域の協力者との連携をとり、今夏のプログラム開始に向けて準備を進める。

勤労青少年ホームの改修工事に伴い、メムオロ太鼓保存会の活動場所の移転に係る費用を計上する。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円			467,000			
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	444,580	563,382	442,210	378,715	1,007,000	1,007,000
	一般財源	円	1,622,409	2,042,334	1,712,983	4,169,384	7,162,000	7,162,000
	事業費計(A)	円	2,066,989	2,605,716	2,622,193	4,548,099	8,169,000	8,169,000
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.6286	0.5953	0.5262	0.6722		
	人件費計(B)	円	4,890,235	4,642,121	4,219,308	5,335,534		
	トータルコスト(A+B)	円	6,957,224	7,247,837	6,841,501	9,883,633		

2021年度（2020年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号

事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策社会教育事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の感染防止対策等については今後も必要とされる。

新型コロナウイルス感染症対策として図書館内に空調設備の設置。

〔2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法〕

新型コロナウイルス感染症拡大防止策としての町営野球場屋外トイレの洋式化及び内装改修工事については、繰越事業として対応する。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費	国・道支出金	円				7,315,000		
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	0	0	0	219,795	0	0
	事業費計(A)	円				7,534,795		
人件費	正職員従事人数	人				8		
	人工数(業務量)	人工				0.0318		
	人件費計(B)	円	0	0	0	252,410		
	トータルコスト(A+B)	円	0	0	0	7,787,205		

2021年度（2020年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画 施策番号	2-1-2
--------------	-------

事務事業名	成人教育活動運営事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約	年代や分野を問わない潤いのある生涯学習推進		公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

地域住民との出会いの場・地域コミュニティーの場として開設し、継続した楽しい学びを通して地域貢献・生きがいづくり等を追及する講座を実施する。

課題として、募集をしても人が集まらないことが続いている。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止。

〔2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法〕

他事業や他団体で行っている講演会、講座などと統合できることから、令和2年度で廃止。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	9,000					
	一般財源	円	156,015	0	135,000	0	0	0
	事業費計(A)	円	165,015	0	135,000	0	0	0
人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4		
	人工数(業務量)	人工	0.1466	0.0425	0.0001	0.0000		
	人件費計(B)	円	1,140,484	331,413	802	0		
	トータルコスト(A+B)	円	1,305,499	331,413	135,802	0		

2021年度(2020年度実績)事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画 施策番号	2-1-2
--------------	-------

事務事業名	成人式典開催事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事業 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

[事業の概要・現状・課題]

成人を対象とする式典の実施、出席者全員での記念写真の撮影、中学校時代の恩師らを交えた交流会を開催している。

民法が定める成年年齢が、令和4年度から18歳に引き下げられることとなり、現在20歳に達する年度の1月に実施している成人式について、対象者や実施時期について検討し、民法改正後も20歳に達する年度で式典を開催することとした。

なお、2021年1月開催予定であった成人式典については、新型コロナウイルス感染症感染拡大により2020年度中の開催を見送った。

[2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法]

2021年1月開催の成人式典を2021年5月2日に開催する予定とし、当初予算に式典2回分の予算額を計上している。なお、5月2日開催予定であった成人式典についても新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みて再延期とし、8月14日に開催予定としている。

芽室町に愛着を持ってもらえるような内容の検討。

→2021年度から毎年、町内3中学校の中3年生在籍時に、5年後の自分へメッセージを作成して写真を撮影。それを動画編集し、5年後の式典で上映する企画を、町内中学校3校に提案中。

成人年齢引き下げにより、式典の名称の変更について検討。

2021年8月開催予定の成人式典の参加状況等を踏まえ、芽室町として令和4年度以降の式典の開催時期や在り方を決定し、町民に周知する。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	202,577	188,986	211,584	0	398,000	242,000
	事業費計(A)	円	202,577	188,986	211,584	0	398,000	242,000
人件費 投入量	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0524	0.0560	0.0393	0.0195		
	人件費計(B)	円	407,649	436,685	315,125	154,780		
	トータルコスト(A+B)	円	610,226	625,671	526,709	154,780		

2021年度(2020年度実績)事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画 施策番号	2-1-2
--------------	-------

事務事業名	青少年健全育成協議会支援事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

[事業の概要・現状・課題]

町民集会の開催、PTA連合会との合同研究大会の開催、街頭巡回活動、広報誌の発行、「子ども110番の家」の依頼・旗の設置、3つの心運動の推奨に係る取組。

課題として、会の構成団体の減少などがある。また、他の団体との活動内容の類似するものがある。

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、町民集会を中止。

[2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法]

「子ども110番の家」の依頼・旗の設置に関する業務については、2021年度から環境土木課生活環境係に移管。2022年度以降の町民集会の在り方について、協議会で検討する。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	585,000	610,000	547,405	377,744	446,000	446,000
	事業費計(A)	円	585,000	610,000	547,405	377,744	446,000	446,000
人件費 投入量	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0115	0.0153	0.0335	0.0406		
	人件費計(B)	円	89,465	119,309	268,618	322,259		
	トータルコスト(A+B)	円	674,465	729,309	816,023	700,003		

2021年度(2020年度実績)事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画 施策番号	2-1-2
--------------	-------

事務事業名	地域子ども会育成連絡協議会支援事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約	町内会加入者の維持、増加		公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

[事業の概要・現状・課題]

事業の概要

- ◎地域子ども会育成連絡協議会への補助金の支出
- ◎地域子ども会育成連絡協議会の事務局業務
 - ・単位子ども会への活動助成金の交付
 - ・わくわく体験塾の開催
 - ・めむろ夏フェスへの参加
 - ・西部十勝子ども会交流会への参加

現状・課題

- ・子ども会加入者数の減少や役員のなり手不足により、単位会の活動を休止するところも年々増えてきている。
- ・単位子ども会単独では行事ができない子ども会も増えている。
- ・地域で子どもを育てるという意識・機運が低下している。
- ・毎年補助金以外の単位会の負担金と前年度の繰越金で道子連、十子連会費、総務費(会議費、郵送料、事務費)を支出しているため数年で支出が出来なくなる事が考えられる。
- ・2020年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため予定していた芽子連事業を全て中止とし、それに伴い、年度途中に補助金も減額した。

[2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法]

- ・ニーズに合った事業内容の検討などにより事業への参加者数及び連絡協議会への加入を促す。
- ・会の規模も少しずつ縮小してきていることから、取捨選択をしながら事業企画・事業協力をを行うことで事業の見直しを検討する。
- ・今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で夏フェスが開催されない事が決定。夏と秋にわくわく体験塾を実施する。感染症の拡大防止のため人数制限や実施場所、感染対策方法について検討が必要となる。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	300,000	372,487	390,793	290,110	490,000	490,000
	事業費計(A)	円	300,000	372,487	390,793	290,110	490,000	490,000
人件費 人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.1909	0.1773	0.2730	0.1726		
	人件費計(B)	円	1,485,119	1,382,577	2,189,037	1,369,999		
	トータルコスト(A+B)	円	1,785,119	1,755,064	2,579,830	1,660,109		

2021年度（2020年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画 施策番号	2-1-2
--------------	-------

事務事業名	地域指導者人材バンク派遣事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係	
町長公約	「茅室町地域指導者登録制度」の再周知と指導環境の検討		公約達成年次	2020年
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務		<input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業	

〔事業の概要・現状・課題〕

人づくり・まちづくりの推進のため、職業や趣味、生活などを通して身につけた知識や技術を教える指導者を発掘し、町民向け講座や講演会、学習会などでの講師・指導者として、派遣要請のあった団体に対して紹介する。
人材バンク登録者が活用されていないことから活用について考える必要がある。

〔2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法〕

現状では、登録者の活躍の場は社会教育事業でのボランティアがほとんどであり、現状に合わせた形で、制度内容の整理をすることも検討する。

地域学校協働活動に活かすため、CSコーディネーターで取りまとめている外部講師のリストと一本化することも検討する。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投 入 量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	0	0	0	0	0	0
	事業費計(A)	円	0	0	0	0	0	0
人 件 費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0078	0.0022	0.0001	0.0001		
	人件費計(B)	円	60,681	17,155	802	794		
	トータルコスト(A+B)	円	60,681	17,155	802	794		

2021年度(2020年度実績)事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画 施策番号	2-1-2
--------------	-------

事務事業名	中学生国際交流事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約	国際、地域間交流の推進		公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

[事業の概要・現状・課題]

アメリカ・トレーシー市との交流のため、6月にトレーシー市からの訪問団受入および3月に本町の中学生10人をトレーシー市へ派遣している。

令和3年3月のトレーシー訪問および6月のトレーシー訪問団来町は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となっている。

交流事業は問題無く進んでいるが、自己負担金額が80千円程度ということも一因なのか、子どもたちの応募数伸びず横ばい状況である。また、トレーシー市への中学生派遣とトレーシー市からの来町が2年続けて中止となつたため、訪問団派遣について身近に感じられないことも考えられる。

[2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法]

引き続き相互の交流を実施する。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を受け、トレーシー市姉妹都市協会と協議した結果、2022年3月の派遣を中止することが決定した。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	780,540	779,640	0	0	0	879,000
	一般財源	円	3,430,744	3,641,037	1,211,796	56,518	0	4,094,000
	事業費計(A)	円	4,211,284	4,420,677	1,211,796	56,518	0	4,973,000
人件費 人件費	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.3877	0.3316	0.2529	0.0093		
	人件費計(B)	円	3,016,137	2,585,801	2,027,866	73,818		
	トータルコスト(A+B)	円	7,227,421	7,006,478	3,239,662	130,336		

2021年度(2020年度実績)事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 2-2-1

事務事業名	文化財保護管理事務	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

[事業の概要・現状・課題]

文化財保護法に基づき、土木工事等を実施する際の埋蔵文化財保護のための事前協議に対する調査・回答を行う。

必要に応じて、工事の立会いも行う。

[2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法]

事前協議や事前相談に対する調査・回答は、北海道教育委員会が発行する「土木工事等に伴う埋蔵文化財保護の流れ」に沿って対応する。調査にあたっては専門的な見地からの判断が求められることから、学芸員(考古学)の資格を持つ職員に協力を依頼する。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	0	0	0	0	0	0
	事業費計(A)	円	0	0	0	0	0	0
人件費 投入量	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0164	0.0326	0.0290	0.0711		
	人件費計(B)	円	127,585	254,213	232,535	564,351		
	トータルコスト(A+B)	円	127,585	254,213	232,535	564,351		

2021年度(2020年度実績)事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 2-2-1

事務事業名	文化財保護審議会開催事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

[事業の概要・現状・課題]

文化財の保存及び活用のため、文化財保護審議会を開催する。

芽室町は芽室公園のカシワのみ対象となっている。

平成30年度からは管内の歴史館、博物館等への視察見学を行っている。

2020年度に上伏古の個人宅にあるイタヤカエデの木の視察を審議委員と行った。

[2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法]

議題について、ふるさと歴史館ねんりんについても、今後論議してもらうなどして、会議の活発化を図る。

他の市町村の文化財登録情報を参考にし、イタヤカエデの木の文化財登録について協議する。

2022年3月31日に文化財保護審議会委員が任期満了となることから、新たな委員を選任する。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投 入 量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	14,976	18,350	15,050	14,458	19,000	19,000
	事業費計(A)	円	14,976	18,350	15,050	14,458	19,000	19,000
人 件 費 投 入 量	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0307	0.0217	0.0106	0.0175		
	人件費計(B)	円	238,833	169,216	84,996	138,905		
	トータルコスト(A+B)	円	253,809	187,566	100,046	153,363		

2021年度（2020年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号

2-2-1

事務事業名	文化賞等授賞式典開催事業	所属部門	生涯学習課 社会教育係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業	<input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業	<input type="checkbox"/> 法定受託事務

〔事業の概要・現状・課題〕

文化活動において優秀な成績・功績をおさめた町民の個人及び団体に対し年1回春に授賞式典を開催。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、2019年度と2020年度については授賞式典を中止、候補者も例年と比較して少なかったことから事業規模を縮小している。

〔2021年度及び2022年度以降の方向性・課題の解決方法〕

文化賞等の表彰基準について規則の見直しを検討する。

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事業費 投入量	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	115,736	158,251	182,506	42,878	205,000	205,000
	事業費計(A)	円	115,736	158,251	182,506	42,878	205,000	205,000
人件費 投入量	正職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4
	人工数(業務量)	人工	0.0586	0.0960	0.0664	0.0333		
	人件費計(B)	円	455,883	748,603	532,425	264,316		
	トータルコスト(A+B)	円	571,619	906,854	714,931	307,194		